



天津っ子

~Amatsu with your smile~

真庭市立天津小学校

*「天津っ子」カラー版は本校HPでご覧いただけます。「天津っ子」で検索してください。

笑顔とあいさつでつながる天津っ子

3学期がスタートして2週間が過ぎました。子供たちの様子を見てみると、特に、児童玄関での朝のあいさつがよくなっています。相手の顔を見て、明るい声であいさつのできている子が多くなっています。家を出るときは、寒さや眠たさでなかなかあいさつのできない子もいると聞いていますが、登校するときちゃんと「やる気スイッチ」を入れてがんばっています。今年度の天津小コミュニティスクールのスローガン「笑顔とあいさつでつながる天津っ子」をめざして、気持ちのよいあいさつができるように声かけをしていきます。

それぞれの学年も、落ち着いて学習に取り組めており、よいスタートを切っています。1年生から3年生の学習の一場面を写真でお伝えします。



1年生 生活

お手伝いなどをして、家族が笑顔になったことを発表しました。



2年生 図工

新聞紙をつかって、教室をアートな迷路にしました。



3年生 算数

友達と協力して、三角定規の角度を調べました。

アサーショントレーニング

5年生は、スクールカウンセラーの岡崎先生にアサーショントレーニング(自分の意見を適切に伝えられるようにトレーニング)の授業をしていただきました。人の話し方には「攻撃的」「非主張的」「アサーティブ(自分の主張を一方的に述べるのではなく、相手を尊重しながら適切な方法で自己表現を行う)」なタイプがあることを学びました。そして、実際の生活場面の中で、どのような言い方をすれば「アサーティブ」であるかをペアグループで考え、実演してみる体験をしました。



茶の湯教室

6年生が、歴史学習の一環として、日本文化を学ぶ「茶の湯教室」を行いました。神戸先生と田中先生にお世話になりました。ありがとうございました。

神戸先生から、お茶の歴史、茶道の心得などを教えていただきました。田中先生にはお点前を披露していただき、その後、実際にお茶を点てるなどの茶道体験を行いました。子供たちは、作法の難しさや「礼に始まり 礼に終わる」「相客に心せよ」など相手を大切にする茶道のよさを学びました。



心のバリアフリー授業

4年生は、総合的な学習で「パラスポーツ」について探究しています。1月18日(水)には、ゲストティーチャーにパラリンピックアイススレッジホッケー日本代表選手として2010年バンクーバーオリンピック(銀メダル獲得)、2018年平昌オリンピックに出場した上原大祐さんをお招きしました。

上原さんから、アイススレッジホッケーの説明や、オリンピックに出場した際のお話を聞かせていただきました。また、共生社会を実現するために必要な心構えなどを学びました。お話のあと、実際にスポーツ用車椅子に乗ってポートボールをする体験学習を行いました。車椅子を操作しながらボールを操ることの難しさを体感することができ、パラリンピックに出場している選手のすごさを知ることができました。



心のバリアフリー授業をした4年生、アサーショントレーニングをした5年生、茶の湯教室をした6年生、いずれも天津小のめざす児童像のひとつである「自分と人を大切にする子」につながる学習になりました。

